

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
9	図4		
12	11	<p>コンピュータで使われるいろいろな量は大きな数になることが多いので、情報量によって単位を使い分ける。Bの前のK, Mは接頭辞 kilo-, mega-の略号である。日常生活でkm^{キロメートル}やkg^{キログラム}のkは10³の1,000を表すが、KBは2¹⁰の1,024を表す。</p>	<p>コンピュータで使われるいろいろな量は大きな数になることが多いので、単位を使い分ける。Bの前のK, Mは接頭辞 kilo-, mega-の略号である。日常生活でkm^{キロメートル}やkg^{キログラム}のkは10³の1,000を表すが、KBは2¹⁰の1,024を表す。</p>
19	図4	<p>図4 日本のデータ流通量の推移（産業計） 総務省『ビッグデータ時代における情報量の計測に係る調査研究』2014年</p>	<p>図4 日本のデータ流通量の推移（産業計） 総務省『ビッグデータの流通量の推計及びビッグデータの活用実態に関する調査研究』2015年</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
28	9	<p>集積回路には、AND、OR、NOT という3つの基本的な論理演算を行う仕組みがある。AND回路、OR回路、NOT回路をまとめて、基本論理回路という。</p>	<p><u>コンピュータ</u>の集積回路には、AND、OR、NOT という3つの基本的な論理演算を行う仕組みがある。AND回路、OR回路、NOT回路をまとめて、基本論理回路という。</p>
30	図1	<p>The diagram illustrates a network architecture. At the center is a green circle labeled 'ネットワーク' (Network) containing several orange circles labeled 'ISP'. This network is connected to various components: <ul style="list-style-type: none"> Two houses at the top left, each with a computer icon, connected to the network. A red-bordered box labeled '企業内 LAN' (Enterprise LAN) containing a 'ルーター' (Router) and a 'ハブ' (Hub) connected to several computer icons. A 'モバイル AP' (Mobile AP) connected to the network, which is in turn connected to a smartphone icon labeled '携帯電話' (Mobile Phone). A red-bordered box labeled '学校内 LAN' (School LAN) containing a 'ルーター' (Router) and a 'ハブ' (Hub) connected to several computer icons. </p>	<p>This diagram is identical to the one in the original text, showing a central network of ISPs connected to various LANs and mobile devices.</p>

IP はネットワーク層における通信プロトコルである。

表1 TCP/IP 参照モデル

層番号	通信機能の階層	役割
5	アプリケーション層	標準的なインターネットサービスやアプリケーションを定義する。
4	トランスポート層	パケットが喪失しないで届くことを保証する。
3	ネットワーク層	ネットワークでパケットを送受信する。
2	データリンク層	物理的に直接接続されたコンピュータ同士が誤りなくデータ転送するための機能や手順を提供する。
1	物理層	ネットワークで 사용되는ハードウェアの特性を規定する。

IP はインターネット層における通信プロトコルである。

表1 TCP/IP 参照モデル

層番号	通信機能の階層	役割
4	アプリケーション層	標準的なインターネットサービスやアプリケーションを定義する。
3	トランスポート層	パケットが喪失しないで届くことを保証する。
2	インターネット層	ネットワークでパケットを送受信する。
1	ネットワークインタフェース層	物理的に直接接続されたコンピュータ同士が誤りなくデータ転送するための機能や手順を提供する。

36 下側注

```

ul{
margin-top : 2em;
margin-bottom : 2em;
}
p{
margin-top : 15px;
margin-bottom : 5px;
}
li{
margin-top : 0.4em;
margin-bottom : 0.4em;
}
li a{
background-color : #FFEEEE;
font-size : 1.2em;
text-decoration : none;
}
em{
font-size : 1.2em;
}

```

図6 CSS ファイルの例

移動p.36→p.37

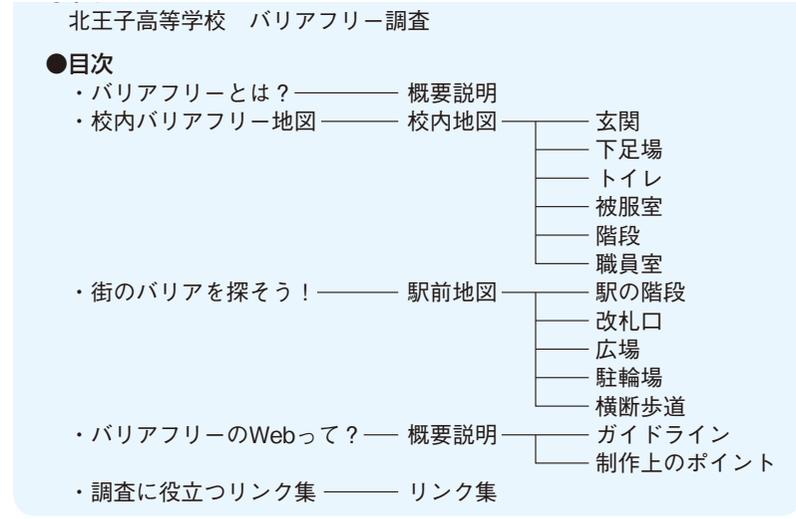


図7 ページ構造の設計例

37

上

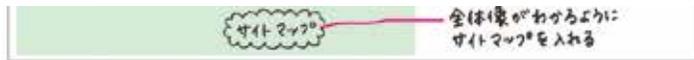


図 8 ページデザインの例



図 9 Web ページの例

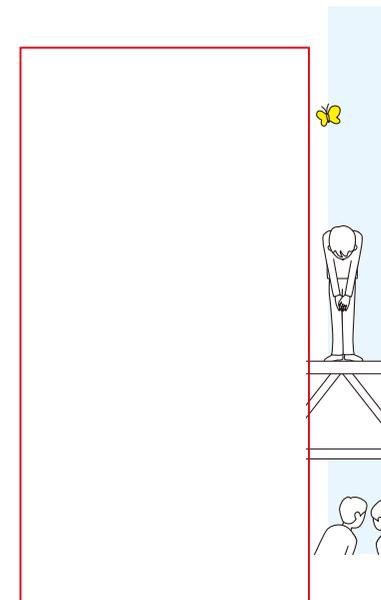
```

<html>
<head>
<title>北王子高等学校 バリアフリー調査 </title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="sample.css">
</head>

<body>
<div id="box">
<div class="logo"></div>
<div class="hajimeni">
<p>「<em>バリアフリー</em>」は主に建物の設計で使われてきた言葉です。</p>
<p>私たちは、この「<em>バリアフリー</em>」をテーマにして、さまざまな角度から、調べてみました。</p>
<p>その成果を Web ページで発表します。</p>
</div>
<div class="naiyou">
<ul>
<li><a href="whats.html">バリアフリーとは？</a></li>
<li><a href="map.html">校内バリアフリー地図</a></li>
<li><a href="town.html">街のバリアを探そう！</a></li>
<li><a href="web.html">バリアフリーの Web って？</a></li>
<li><a href="link.html">調査に役立つリンク集</a></li>
</ul>
</div>
<div class="map">
<a href="sitemap.html">サイトマップ</a>
</div>
<div class="footer">
<p>この Web ページに掲載されている画像・文書などの転載を禁止します</p>
<p>Copyright(c) 2017.Kitauji High School All Rights Reserved</p>
</div>
</body>
</html>

```

図 10 HTML ファイルの例





北王子高等学校 バリアフリー調査

●目次

- ・バリアフリーとは？—— 概要説明
- ・校内バリアフリー地図—— 校内地図
 - 玄関
 - 下足場
 - トイレ
 - 被服室
 - 階段
 - 職員室
- ・街のバリアを探そう！—— 駅前地図
 - 駅の階段
 - 改札口
 - 広場
 - 駐輪場
 - 横断歩道
- ・バリアフリーのWebって？—— 概要説明
 - ガイドライン
 - 制作上のポイント
- ・調査に役立つリンク集—— リンク集

図6 ページ構造の設計例

移動p.36→p.37

36

10 0100



15

セカンドレベルドメイン。



図 7 ページデザインの例



図 8 Web ページの例

```

<html>
<head>
<title>北王子高等学校 バリアフリー調査 </title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="sample.css">
</head>

<body>
<div id="box">
<div class="logo"></div>
<div class="hajimeni">
<p>「<em>バリアフリー</em>」は主に建物の設計で使われてきた言葉です。</p>
<p>私たちは、この「<em>バリアフリー</em>」をテーマにして、さまざまな角度から、調べてみました。</p>
<p>その成果を Web ページで発表します。</p>
</div>
<div class="naiyou">
<ul>
<li><a href="whats.html">バリアフリーとは？</a></li>
<li><a href="map.html">校内バリアフリー地図</a></li>
<li><a href="town.html">街のバリアを探そう！</a></li>
<li><a href="web.html">バリアフリーの Web って？</a></li>
<li><a href="link.html">調査に役立つリンク集</a></li>
</ul>
</div>
<div class="map">
<a href="sitemap.html">サイトマップ</a>
</div>
<div class="footer">
<p>この Web ページに掲載されている画像・文書などの転載を禁止します</p>
<p>Copyright(c) 2017.Kitauji High School All Rights Reserved</p>
</div>
</body>
</html>

```

図 9 HTML ファイルの例

```

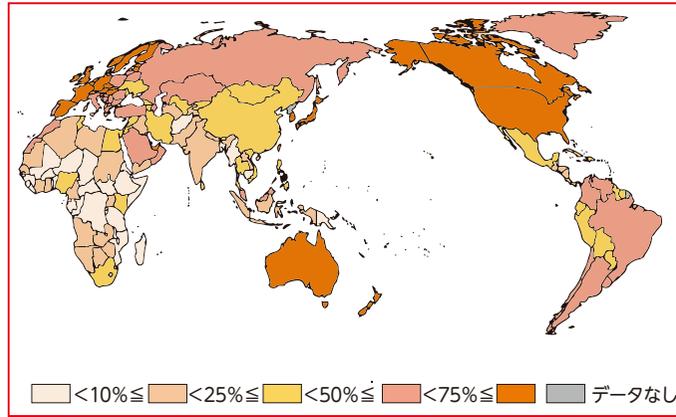
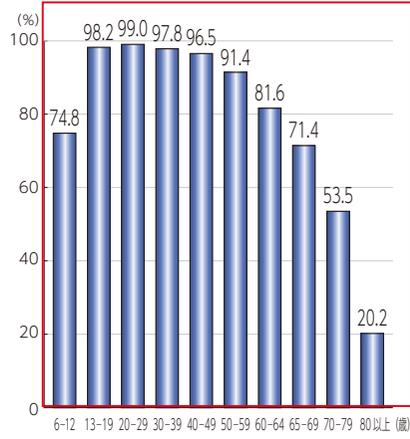
ul{
margin-top : 2em;
margin-bottom : 2em;
}
p{
margin-top : 15px;
margin-bottom : 5px;
}
li{
margin-top : 0.4em;
margin-bottom : 0.4em;
}
li a{
background-color : #FFEEEE;
font-size : 1.2em;
text-decoration : none;
}
em{
font-size : 1.2em;
}

```

図 10 CSS ファイルの例

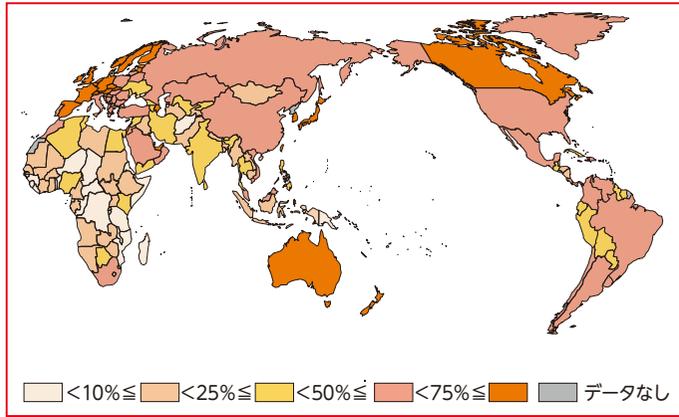
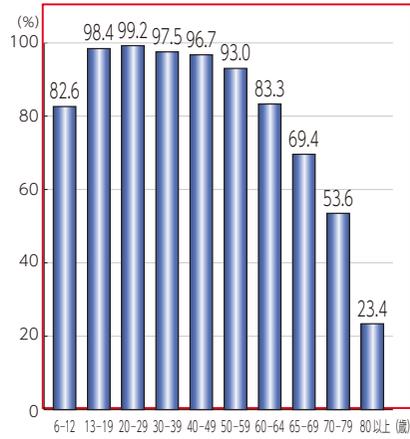
訂正箇所		原 文	訂 正 文										
ページ	行												
38	表1	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>宛先を指定してメールソフトウェアを起動する。</td> </tr> <tr> <td><table><tr><td></td> <td>表を挿入する。</td> </tr> <tr> <td><form></td> <td>入力枠などのフォームを設置する。</td> </tr> </table>		宛先を指定してメールソフトウェアを起動する。	<table><tr><td>	表を挿入する。	<form>	入力枠などのフォームを設置する。	<table border="1"> <tr> <td><h></td> <td>見出しを指定する。h1 ~ h6 まであり, h1 が最大, h6 が最小。</td> </tr> <tr> <td><p></td> <td>段落を指定する。</td> </tr> </table>	<h>	見出しを指定する。h1 ~ h6 まであり, h1 が最大, h6 が最小。	<p>	段落を指定する。
	宛先を指定してメールソフトウェアを起動する。												
<table><tr><td>	表を挿入する。												
<form>	入力枠などのフォームを設置する。												
<h>	見出しを指定する。h1 ~ h6 まであり, h1 が最大, h6 が最小。												
<p>	段落を指定する。												
82	図1	<p>The diagram illustrates the SSL handshake process between a client (computer) and a server (server rack). It shows the following steps:</p> <ol style="list-style-type: none"> ① https 通信 (Client to Server) ② サーバ証明書と公開鍵送信 (Server to Client) ③ サーバ証明書からサイトの存在性と信頼性を確認。共通鍵を生成し、公開鍵で暗号化。 (Client side) ④ 共通鍵送信 (Client to Server) ⑤ 共通鍵を秘密鍵で復号。 (Server side) ⑥ SSL コネクション確立 (Server to Client) <p>Labels include: 共通鍵 (Common Key), サーバ証明書 (Server Certificate), 公開鍵 (Public Key), 秘密鍵 (Private Key). A red box highlights step 5.</p>	<p>The diagram illustrates the SSL handshake process between a client (computer) and a server (server rack). It shows the following steps:</p> <ol style="list-style-type: none"> ① https 通信 (Client to Server) ② サーバ証明書と公開鍵送信 (Server to Client) ③ サーバ証明書からサイトの存在性と信頼性を確認。共通鍵を生成し、公開鍵で暗号化。 (Client side) ④ 共通鍵送信 (Client to Server) ⑤ 共通鍵を秘密鍵で復号。 (Server side) ⑥ SSL コネクション確立 (Server to Client) <p>Labels include: 共通鍵 (Common Key), サーバ証明書 (Server Certificate), 公開鍵 (Public Key), 秘密鍵 (Private Key). A red box highlights step 5.</p>										

95 図1



総務省「情報通信白書」2016年

訂 正 文



総務省「情報通信白書」2017年